

該当項目	多く出たご意見	回答
2.小中学校の現状	将来推計について、私立学校に進学する児童生徒は考慮しているのか。	P4及びP6の将来推計には、私立学校に進学する児童生徒数は考慮されていません。
5.適正配置	P17適正配置について、小学生の4Kmは遠いのではないのか。	統合となる学校ではスクールバスの導入を想定しています。範囲については、今後検討していきます。
	スクールバスを導入する場合の費用は市で負担となるのか。	統合によりスクールバスを導入する場合には、市の負担となります。
	登下校で歩くことが体力作りの要となっている。スクールバスを導入する場合はそれも考慮してほしい。	スクールバスを導入する場合には、体力作りについても考慮していきます。
6.具体的な進め方	P18の方策について、対等な関係が望ましいとはどういう意味か。	学校の統合を行う場合は、適正規模校へ小規模校を統合する、いわゆる吸収という形ではなく、新校としての設置を想定しています。設置に向けて、該当校の関係者による準備委員会を設け、校名、校歌等、必要な内容について決めていく予定です。
資料編	資料編の統廃合は決定事項なのか。	最後の資料編については、基本的な考え方の作成にあたり、学校部会で審議の際に使用した資料を参考に掲載しています。現時点で統合が決まっているものではありません。
	資料編の検討時期について、1年目はいつになるのか。	検討時期については、上記の見直し方針についての地域説明会やパブリックコメントの後に決定しますので、現時点では決まっています。
	P24通学区域の見直しについて、現在の通学区域は線路を越えないように設定されていると思うが、見直す場合に安全面で問題ないか。	児童生徒の安全面を最優先に検討します。
	現在の通学区域で複雑化している場所の見直しも行ってほしい。	適正配置に関係する地域の通学区域の見直しを想定していますが、通学区域が複雑化している場所については、該当の自治会と協議のうえ検討します。
その他	今後の流れを説明してほしい。	学校を含めた市の公共施設の見直しを審議会で話し合い、その見直し方針について地域説明会やパブリックコメントを実施する予定です。
	財政上の問題で統合となるのか。	市の公共施設の見直しを行うにあたり、学校については財政上の問題で統合を行うことは望ましくないため、まずは教育の観点から学校の適正規模及び適正配置の基本的な考え方を取り纏めました。

*各学校運営協議会から頂いたご意見のうち、特に多く出たご意見のみを記載していますので、ご了承ください。